

(様式 1-2) (用紙寸法は、日本工業規格 A 列 4 とする。)

(※本様式 1-2 については、別紙を添付することも可能とするが、別紙も含め、全体で 6 ページ以内に収めること。また、別紙を添付する場合は、A 4 サイズで作成すること。)

事業計画書

1. 事業の題名

「ブックスタートによる子育て支援」

2. 業務の委託期間

委託を受けた日から平成 年 月 日まで

3. 選択テーマ

※単独テーマに該当する場合には、いずれか一つに○を、複数テーマに該当する場合には、主なテーマに◎、関連するテーマに○を付ける。

テーマ	該当の有無
若者の自立・社会参画支援	
地域の防災拠点形成支援	
地域人材による家庭支援	◎
地域振興支援	
その他地域の教育的資源を活用した地域課題解決支援	○

4. 支援プログラム実施組織の構成

①組織の全体構成員

氏名	所属・役職等	備考欄
	読み語りサークル ゆかいななかまたち代表	
	八千代町おはなし会グループ 代表	
	美土里の森の絵本館 代表	
	朗読ボランティア 代表	
	甲田町かみしばい会ボランティア 代表	
	きらきら絵本館 代表	
	子育てサークル「どんぐりころころ」 代表	
	子育てサークル「たんぽぽ」 代表	
	安芸高田市立図書館長(生涯学習課長)	
	保健医療課長	
	子育て支援課長	
	安芸高田市保育連盟 会長	

②事業推進担当社会教育主事(役職が社会教育主事でない場合は事業の中心となる社会教育関係職員)

氏名	所属・役職等	備考欄
國岡浩祐	安芸高田市教育委員会生涯学習課 主査	

5. 取組みの趣旨・目的

(地域の現状、解決すべき地域の課題、それに対する解決の取組概要等を記載すること。)

今日、人間関係の希薄化が社会問題となっている。

これは、人と人とのコミュニケーション不足により生じるものと思われるが、コミュニケーション能力の低下や核家族化の進行による親子間のコミュニケーション不足が大きく起因しているものと思われる。

これらを解決していくためには、まず、家庭内での人間関係を構築し、保護者同士の交流を深めていく必要がある。

読書は豊かな心を育む効果があることから、乳幼児からの読み聞かせ（ブックスタート）が注目されている。乳幼児期からの読み聞かせは、本を読む習慣を醸成することが目的と思われがちであるが、本来の目的は親子と一緒に本を開き、語りかけることにより、子どもの表情を楽しむことや楽しい時間・空間をともにわかちあうことである。

コミュニケーションを図る上での有効なツールであるブックスタートを活用し、家庭内でのコミュニケーション不足の解消や親同士・地域住民の交流を醸成する本事業（乳幼児健診時からのブックスタート）を実施する。

6. 支援プログラムの具体的実施内容及び実施方法等

■実施内容

1. 乳児健診時の読み聞かせ

(1) 検診の待ち時間に同世代の育児経験者から子育ての悩みなどについて相談や意見交換を行う（会話）。

- ① 悩みの解消・共有
- ② 顔見知りの保護者またはママ友・パパ友の誕生
- ③ 子どもの遊び相手の誕生
- ④ 実際に行って良かった子育てのためのイベントや講座、サークルなどの情報提供

(2) 読み聞かせボランティアが本を2冊プレゼント

- ① 読書の効果の説明
- ② 読み聞かせの実演
- ③ 幼児向けブックリストの配布
- ④ 読み聞かせ会・図書館の案内

2. 乳幼児セラピー

(1) 事前アンケート実施

- ① 育児に関することで、他の保護者に聞いてみたいことや欲しい情報等を調査

(2) 2～3 グループに分かれ、子育てママに人気のベビーマッサージを実施する。

(3) 読み聞かせ

- ① グループごとに読み聞かせボランティアが読み聞かせを実施。
- ② 自分の子どもが好きな本や反応がいい本を持参し、情報を共有する。
- ③ 読み聞かせをして良かったと思うことや、効果があったこと、助かったことについて意見交換する。

(4) 保護者間交流

- ① 事前アンケートに記された他の保護者に聞いてみたいことや欲しい情報、子育ての悩

みについて意見交換。

②育児の中で効果的だったことや、取り組んでいることについての情報交換。

③育児の中で楽しいことについて発表する。

3、1歳6カ月検診時の読み聞かせ

(1) 検診の待ち時間に同じ世代の育児経験者から子育ての悩みなどについて相談や意見交換を行う（会話）。

① 悩みの解消・共有

② 顔見知りの保護者またはママ友・パパ友の誕生

③ 子どもの遊び相手の誕生

④ 実際に行って良かった子育てのためのイベントや講座、サークルなどの情報提供及び情報共有

(2) 読み聞かせボランティアによる読み聞かせ

① 読み聞かせの実演

② 幼児向けブックリストの配布

③ 読み聞かせ会・図書館の案内

4、1歳6カ月児セラピー

(1) 事前アンケート実施

① 育児に関することで、他の保護者に聞いてみたいことや欲しい情報等を調査

(2) 2～3グループに分かれリトミックを実施。

(3) 読み聞かせ

①グループごとに読み聞かせボランティアが読み聞かせを行う。

②自分の子どもが好きな本や反応がいい本を持参し、情報を共有する。

③読み聞かせをして良かったと思うことや、効果があったこと、助かったことについて意見交換。

(4) 保護者間交流

①事前アンケートに記された他の保護者に聞いてみたいことや欲しい情報、子育ての悩みについて意見交換。

②育児の中で効果的だったことや、取り組んでいることについての情報交換。

③育児の中で楽しいことについて発表する。

■実施方法

1、乳児健診時の読み聞かせ

5ヶ月～6カ月の乳幼児とその保護者を対象に毎月1回（平日）実施する。

1組の乳幼児・保護者に対して、同世代の育児経験者及び読み聞かせボランティアがペアになり10分程度対応（※マンツーマンで対応）

2、乳幼児セラピー

5ヶ月～9カ月の乳幼児とその保護者を対象に年4回（日曜日の午前中）実施する。

ファシリテーターがアイスブレイク（10分）の中で新生児の親、第2子・第3子の親がバランスよくグループになるよう編成した後に、ベビーマッサージ（30分）、読み聞かせ・読書の意見交換（20分）、子育ての意見交換（30分）を行う。

（※ 子育てが楽しく前向きになれる思いで帰宅できる、参加者同士が共感できる内容となる意見交換を最後に行う。）

3、1歳6カ月検診時の読み聞かせ

1歳6ヶ月程度の幼児とその保護者を対象に毎月1回（平日）実施する。）

2～3組の幼児・保護者に対して同世代の育児経験者及び読み聞かせボランティアがペアになり10分程度対応（※保護者と子ども間でコミュニケーション）

4、1歳6カ月児セラピー

1歳6カ月～2歳の乳幼児とその保護者を対象に年4回（日曜日の午前中）実施する。ファシリテーターがアイスブレイク（10分）の中で新生児の親、第2子・第3子の親がバランスよくグループになるよう編成した後に、リトミック（30分）、読み聞かせ・読書の意見交換（20分）、子育ての意見交換（30分）を行う。

（※子育てが楽しく前向きになれる思いで帰宅できる、参加者同士が共感できる内容となる意見交換を最後に行う。）

【参考：健診の概要】

1、各健診の受診状況

- 乳児健診 受診該当者 204人、受信者 190人、受診率 93.1%
 - 1歳6カ月検診 受診該当者 233人、受信者 219人、受診率 93.8%
 - 3歳児検診 受診該当者 207人、受信者 184人、受診率 88.9%
- （※1回の健診で10～30名が受診）

2、健診の実施状況

各健診とも安芸高田市民文化センター（クリスタルアージュ）において毎月1回、年間計12回実施

7. 支援プログラムの実施により得られることが見込まれる成果・効果

1、親子のコミュニケーション能力の向上

子どもが読み聞かせを喜ぶことを体験したら親も楽しくなる。膝の上などで読み聞かせを行うことにより、肌が触れ合う日常的なコミュニケーションを乳幼児期から行うことができる。

2、父親の育児への参加

父親が上記の読み聞かせを行い子どもとの時間の楽しさを共感することにより、読み聞かせ以外の育児参加が期待できる。

3、保護者・子ども間の人間関係の醸成

健診時やセラピーに参加することにより、同世代の保護者と意見交換や情報共有ができ、保護者間・子ども間の人間関係を醸成できる。

4、育児の悩みの減少

保護者同士で情報を共有し共感することで、育児に対する悩みやストレスを減少する。

5、子どもの読書習慣の醸成及び活字離れの抑止

乳幼児期から読み聞かせをされることにより、読書習慣が自然に身に着く。絵本を開く習慣は、いずれ絵本以外の本を開くことにも繋がり、その結果活字離れの抑止効果が期待できる。

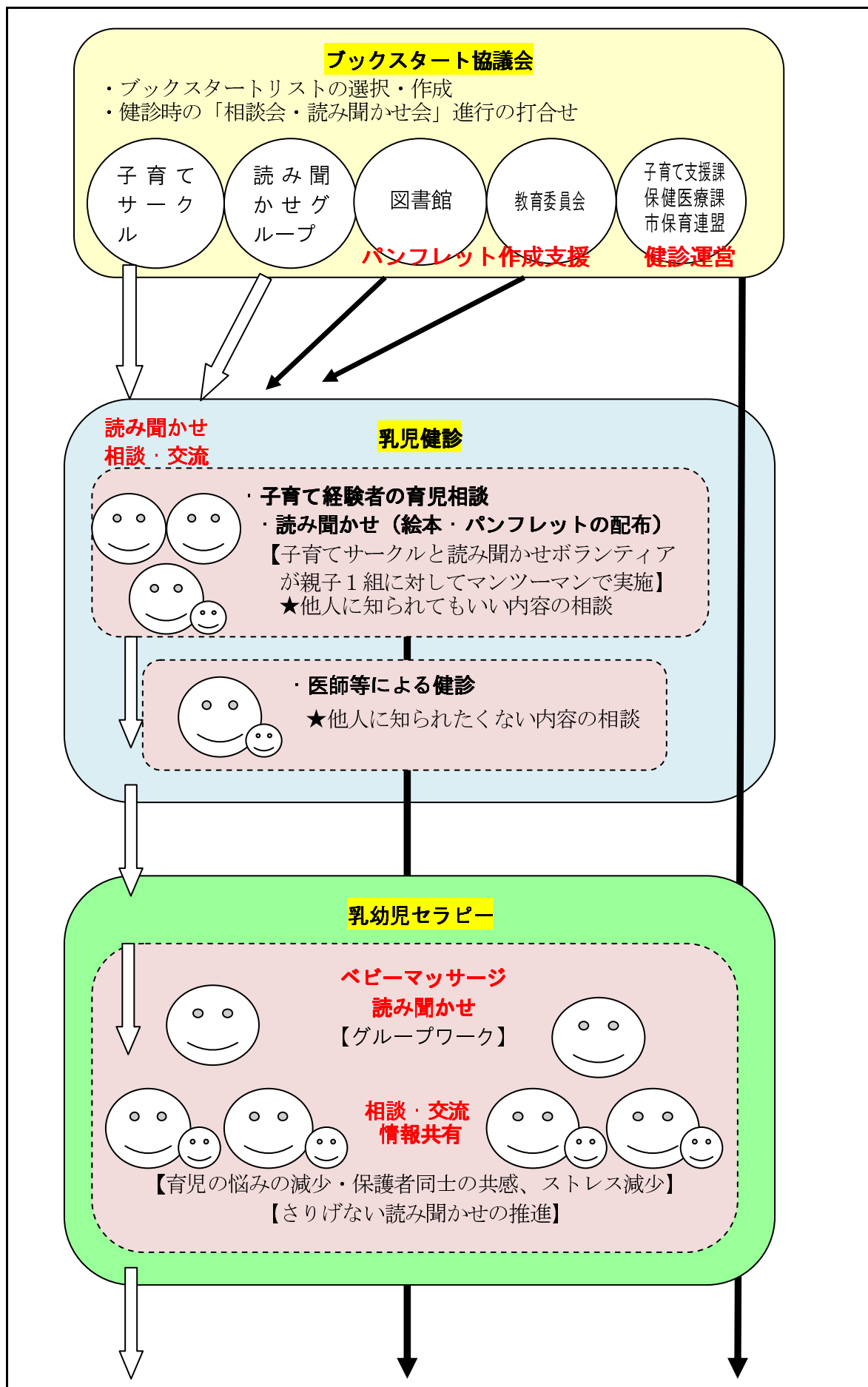
6、保護者の読書習慣の醸成

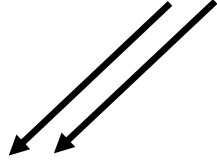
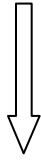
子どもが親に読み聞かせを求めることで親も定期的に図書館へ通うことになり、その結果親（自分自身）が読む本も探し、これまでなかった読書習慣の醸成が期待できる。

7、若い世代の社会参画

同世代の育児経験者と接することで育児サークル加入につながる可能性がある。その結果ボランティア活動や、育児経験者（応相者）へ発展する可能性の期待も持てる。読み聞かせグループは、育児サークルから発展したケースが多いため、読み聞かせグループへの発展や図書館ボランティアなどの社会参画へつながる可能性がある。

8. 事業の実施体制（再委託先まで含めた事業実施体制について図示すること。）

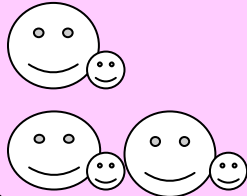




パンフレット作成支援

健診運営

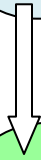
1歳6カ月健診



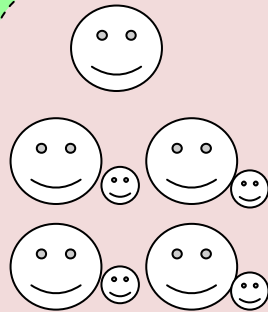
- ・子育て経験者の育児相談
- ・読み聞かせ（おすすめ本パンフレットの配布）
【子育てサークルと読み聞かせボランティアが親子複数組に対して実施】
- ★親子同士の交流を醸成
- ★他人に知られてもいい内容の相談



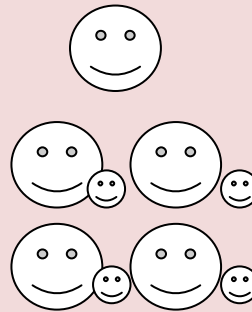
- ・医師等による健診
- ★他人に知られたいくない内容の相談



1歳6カ月児セラピー

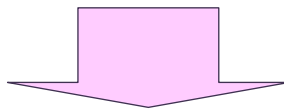


リトミック
読み聞かせ
【グループワーク】



相談・交流
情報共有

- 【育児の悩みの減少・保護者同士の共感、ストレス減少】
- 【さりげない読み聞かせの推進】



子ども間
の交流

保護者間
の交流

地域社会活
動への参画



子育てサークルへの加入

読み聞かせ会への参加

日常的な図書館利用

健診時の相談対応者

9. 支援プログラム実施スケジュール

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
協議会	★委員の委嘱 ★開催通知 ★協議会											
贈呈本の選択	★選択リストの作成 ★協議会で確認・承認											
贈呈本の発注	★執行起案 ★見積徴集 ★購入契約 ★発注											
パンフレット(新生児用)	★原稿作成 ★校正 ★内容確認 ★校了 ★発行											
パンフレット(幼児用)	★原稿作成 ★校正 ★内容確認 ★校了 ★発行											
印刷業務契約	★執行起案 ★見積徴集 ★印刷製本契約 ★校正 ★印刷											
乳児健診	★毎月第3木曜 →											
乳幼児セラピー	★年4回日曜日(午前中) →											
1歳6カ月健診	★毎月第2木曜 →											
1歳6カ月児セラピー	★年4回日曜日(午前中) →											
読み聞かせ会	★毎月4回実施 →											
健診の広報	★関係部署との協議 ★次年度用広報媒体の共同作成 ★次年度用広報媒体の発行											
アンケート	★1歳6カ月健診時(乳児健診内容について) ★3歳健診時(1歳6カ月健診内容について) →											

10. 支援プログラムの評価にかかる項目

(評価体制、評価手法等を本プログラムの成果指標も含め、できるだけ具体的に記載すること。)

<ol style="list-style-type: none"> 1、乳児健診及び1歳6カ月健診の受診率(94%以上) 2、各読み聞かせ会来場者を現状の1.2倍増加 3、絵本及び児童書貸出率を現状の1.2倍増加 4、1歳6カ月健診時、3歳健診時に振り返りアンケートを実施。 <ul style="list-style-type: none"> ・家庭での読み聞かせ率を調査(60%以上) ・父親の読み聞かせ等育児への参画(25%以上) ・不安の解消度 ・応団者・保護者間でのコミュニケーション度 ・健診全般の満足度調査(満足者70%以上) 5、読み聞かせ実施者への調査を実施 <ul style="list-style-type: none"> ・読み聞かせ実施の満足度 ・読み聞かせの浸透度 6、応談者への調査を実施 7、セラピーに振り返り調査を実施
--

- ・ 保護者の参加率（33%以上）
- ・ 不安の解消度
- ・ 参加者間のコミュニケーション度
- ・ セラピー全般の満足度調査（満足者 70%以上）

8、育児サポーター登録者数（10%以上）

【以下は、複数年度の取組み実施を予定している場合に作成すること】

1 1. 初年度の実施内容、成果を踏まえた次年度以降の支援プログラム実施内容及び実施方法等

■ 1 年目

【読み聞かせ等子育てサークル活動】

- ・ 子育てサークル内での自主的な読み聞かせ活動の開催
- ・ 既存の読み聞かせボランティアが指導する読み聞かせ研修
読み聞かせボランティアが、子育てサークルに出向き、読みきかせの実演を行うとともに、基本的な読み聞かせの知識を教授する。（年 1 回）

【相談会】

- ・ 受診した保護者へのアンケート等をもとに、保護者が求める新たな交流の場を検索する。

■ 3 年目

【読み聞かせ等子育てサークル活動】

- ・ 読み聞かせ講習会（講師の招聘）を実施し、読み聞かせグループ発展への指導を行う。
- ・ 子育てサークルのない市町（4 町／6 町）にも子育てサークルまたは、子育てサークルに準じた活動ができる組織を設立する。

【相談会】

- ・ 相談会での応談者は、過去 2 年間における乳児健診または 1 歳 6 カ月健診の受診者（保護者）がなれるよう、子育てサークル会員を中心に登録制の育児サポーターを募集し、常に新生児の子育てを終えたばかりの保護者が行う体制を保つ。